

企画総務委員会 送付29-15

保育所の代替園庭使用公園を直ちに全面禁煙公園として指定するように求める陳情

受付年月日 平成29年9月13日

陳情者

陳情書

(趣旨)

私たちは千代田区内、5歳以下の子供を持つ父母の仲間です。

都心千代田区には乳幼児が安全・安心に遊ぶ場所が極端に少なく、更に遊具がある公園は非常に限られ、子供たちの遊び場確保には「毎日」苦慮しています。唯一、近くの西神田公園だけが、子供たちにとっての遊び場です。

しかし、西神田公園は、「朝9時から夜7時まで途切れることなく」(その他の時間帯については存じ上げません)、公園内には喫煙者が溢れています。午前中であろうと、実態は変わりません。公園の中まで喫煙者で溢れ、「子供がいることなど構わず」、「遊具のそばで」多くの若者、大人が煙草を吸っています。その吸殻を花壇の中や水たまりに捨てる喫煙者もいます。

子供たちは公園で遊びたいのであれば、「命を削れ」ということでしょうか。

「禁煙！遊具コーナー及びその付近での喫煙はご遠慮下さい」の看板(喫煙者のマナー向上を図るための看板)も、生活環境改善指導員によるパトロールも、効力が「全くない」ことは現状を「きちんと」見れば誰の目からも明らかです。乳幼児は遊べる場所がなく、「毎日」遊ぶ場所の確保に悩み、「泣く泣く」室内で遊ばせるしかありません。子供は公園を前に「公園に行きたい」と泣き叫びますが、叫ぶ子供を抱え、喫煙者から逃げ、大好きな公園を通り過ぎるしかありません。

平成29年6月の千代田第2回定例会にて、公園の禁煙化に対する質問の答弁で石川雅己区長は「現時点で私が考えていることを申し上げるならば、保育園の代替園庭の公園・子供の利用が多い公園等は、出来るだけ早く禁煙ということをして頂きたいと思えます。」と答えられています。

区長の「できるだけ早く禁煙」というお言葉を信じ、公園で遊べる日はもうすぐ来るからそれまでの辛抱だ、と皆で「毎日」心待ちにしていました。

しかし、9月に入り、まだ何も変わっていない状況であり、愕然としました。

数年前から千代田区で公園の喫煙が問題としてあがっていることを存じ上げております。毎月、「受動喫煙対策の推進に向けて、検討を進めているところです。」「見直しを進めているところです。」という回答が繰り返されていることも存じ上げています。

例えば、西神田公園であれば、たった看板一枚、一日で、まずは、下記のことが徹底できます。

- ・全面禁煙を謳う

・即時全面禁煙が難しいのなら、狭い方の出入り口(煙が公園に来づらい区画)を喫煙場所、その他は禁煙とし、徐々に全面禁煙へと移行する。

・周知の通り、近隣の愛全公園は喫煙所となっており、子供たちも必要としていないので、愛全公園を喫煙所とし、西神田公園は禁煙とする。

周りの人の命を削る喫煙が、区内のあらゆる公園で「いつでも」許されているのに対し、子供は「公園で遊びたい」と泣き叫びながら、どこの公園にも入れず、室内に逃げるしかない。これが「毎日」繰り返されていること、この重みをご理解ください。

どうか子供たちの命を、責任をもって、守っていただきたいと思います。

「検討」「見直し」が繰り返される毎日、子供たちは「公園に行きたい」と泣き叫び、苦しい毎日を送っています。気持ちの良い日に、大好きなお砂場遊びや滑り台、ブランコができません。

「明確な答弁が得られない」状況が続く「今日この日」も毎日、子供たちは喫煙で命を削りながら公園で遊ぶか、大好きな公園をあきらめ、泣く泣く室内で遊ぶかの選択肢を突き付けられています。

即時実施をできない要因は何ですか。その責任の所在と理由を明らかにしてください。

夏の間「毎日」待っていたのです。もう待つことはできません。禁煙公園になる実施予定日を明確に示し、実行してください。

以上

平成29年9月9日

千代田区議会議長 松本 佳子 殿